

暮らし・定住・未来創造

広報

しんじょう 7

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.715



新庄市役所 Tel22-2111
ファクス22-0989

新庄市ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
メール info@city.shinjo.yamagata.jp



ユネスコ無形文化遺産
国重要無形民俗文化財

ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎





JINJIRO MATSUDA
1909-1943

甚次郎



表紙のイラスト

私たちの地域にはさまざまな「種」が芽吹いています。その種は、人が手をかけることによって、きれいな花を咲かせるのです。そして、次世代に新しい種を繋いでいってくれるはずです。

広報

しんじょう7

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.715

目次◎CONTENTS

特集／ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎

- 4 松田甚次郎とは
- 6 ここに咲いた花 松田甚次郎と地域活動
- 8 ここに咲いた花 松田甚次郎と地域学習
- 10 ここに咲いた花 松田甚次郎と演劇活動
- 12 ここに咲いた花 松田甚次郎と新庄の種
- 14 特別対談 松田甚次郎の遺したもの
- 18 まちとぴ
- 20 南東北インターハイ開催
- 22 国民年金制度
- 24 連載 図書館に行こう
- 25 お知らせなど
- 28 連載 しんじょうラボ

市長コラム

山尾順紀



最上葛麓会の閉幕

5月末付で「葛麓誌」最終号の発行に想う」の巻頭に、最上葛麓会幹事長鎌田隆氏が「会員の減少と高齢化により、運営が困難となり110年の歴史に幕を閉じることになった」と自責の念に駆られた最終号が届けました。

最上葛麓会の歩みを見ると、明治の廃藩置県により、戸沢家とその旧藩士が新庄会を結成、その新庄部、東部、山形部などが、明治30年にまとまり新庄義友会となったのち、名称を最上義友会に改めたとあります。明治33年に葛麓誌の前身である「最上義友会々誌」が発行され、大正7年、嶺金太郎が郷土誌「葛麓」を発刊、以後「葛麓」が最上義友会の機関紙となり、戦局悪化で廃刊、昭和22年再刊し、今回の169回で最終号となりました。

数年前に会の今後の有り方について相談を受けました。「最上葛麓会」は郡内全体の集まりでしたが、本市以外の町村で「東京ふるさと会」が結成され、葛麓会の町村出身者がそれぞれ参加していました。本市でも交流人口の拡大を目指し、「新庄東京ふるさと会」を4年前に立ち上げ、葛麓会も入る形で進めてきました。しかしながら、葛麓会として単独で活動が続けていくことは難しいということで解散し、新庄東京ふるさと会に新たな交流の場を設けることになりました。

いつの世も組織を運営することは大変なことです。特にボランティア的な運営はことさらです。これまでの故郷との懸け橋を担っていただいた諸先輩に心から感謝申し上げます。

特集

ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎

松田

童話作家「宮沢賢治」の名を知らない人はいないでしょう。しかし、賢治の教えを実践し、全国に賢治を知らしめた人物がここ新庄にいたことを知る人は多くありません。

私たちのまちには、歴史的偉人や国指定の建造物、景観、世界に認められたイベントや特産品など、多くの誇れるものがあります。しかし、それらの「種」は、誰かが育ててくれるわけではなく、私たち自身が育て、伝えていかなくてはならないのではないのでしょうか。

今回は、賢治の教えをここ新庄で実践し、短くも熱く激しく燃え上がった、義農「松田甚次郎」の生涯と合わせ、その「種」を育てる活動を行っている団体などを紹介していきます。

地方の活性化が叫ばれる現在、甚次郎がここで成してきたことは、今の時代にさえ光り輝くはずです。そしてなぜ彼の名は忘れ去られてしまったのか。この地に生きる私たちにとって、その事は、とても重要なことなのではないのでしょうか。

松田 甚次郎とは

JINJIRO
MATSUDA

昭和の初め、宮沢賢治の訓に従い数々のことを実践した松田甚次郎。

その実践記録『土に叫ぶ』や『宮沢賢治名作選』などの著作で、当時全国的に有名な人物でした。

しかし没後、戦中の植民地農政に協力した疑いを持たれ、その名は忘れ去られていきます。

甚次郎が生きた時代、彼が何を考え、何を成したのか。その意味をひも解いていきます。

生い立ちと学生

松田甚次郎は明治42年3月3日、市内鳥越の自作兼地主の裕福な農家に長男として生まれました。そして現在の日新小学校を卒業後、村山農学校を経て大正15年に盛岡高等農林学校農学科別科（現在の岩手大学農学部）に進学します。

在学中の大正15年4月1日岩手日報朝刊に掲載された、羅須地人協会設立に寄せて宮沢賢治が語った記事を見た甚次郎は、卒業間際の昭和2年3月に賢治を訪ねます。その時、賢治から「小作人たれ」、「農村劇をやれ」という二つのことを諭されたといいます。感銘を受けた甚次郎は賢治の教えを信じ、小作人として生きること、真の農村振興を図ろうと決意しました。

鳥越倶楽部と最上共働村塾

鳥越に帰った甚次郎は、父に60アールの田を借り小作人となります。同時に村の青年を集めて、鳥越倶楽部を結成します。彼らは、鳥越八幡神社に自分たちで土舞台を築き、36回もの上演を行いました。

また、甚次郎は、農業恐慌により疲弊していく村の生活を守るため、有機農業を主とした自給自足的農業経営を実践します。村に消費組合を組織し、禁酒や女性の地位向上運動などにも力を注ぎました。

これら甚次郎の活動は当時あまりにも型破りだったため、一部の人々に、左翼的危険思想の持ち主と疑われることとなりました。

その一方で、彼の活動を知った青年たちが全国各地から集まります。

小作人たれ、農村劇をやれ

宮沢賢治 (1896-1933)

花巻市生まれ。盛岡中学、盛岡高等農林学校卒。1922年花巻農学校教諭。1924年、心象スケッチ『春と修羅』、童話集『注文の多い料理店』刊行。1926年羅須地人協会設立。農民の生活の向上のために尽くすが、急性肺炎のため37歳で永眠。

資料提供

林風舎



松田甚次郎 1909-1943

1927
(昭和2年)

1926
(大正15年)

1923
(大正12年)

1909
(明治42年)

3月に宮沢賢治を訪ねる
鳥越倶楽部結成
土舞台上演

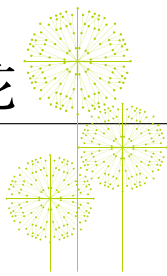
盛岡高等農林学校
農学科別科に入學

日新小学校卒業
村山農学校入學

3月3日、稲舟村（現新庄市）
鳥越の旧家の長男として誕生

ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎



▲鳥越倶楽部による上演



▲鳥越八幡神社の境内を上がっていくと、そこが土舞台

甚次郎実践の場 鳥越土舞台

昭和7年、鳥越の南にあった古い小屋を借りて塾舎とし、最上共働村塾と名付けました。多くの住民がお互いの役割と責任を認め合い、相互関係を深めながら「共に働く・行動する」関係を築いていくという意味が「共働」には込められています。

「鳥越隣保館」の建設

昭和8年、甚次郎は有栖川宮記念厚生資金を授与されます。すると、それまでの彼に対する周囲の見方も一変しました。そして、この資金をもとに、村人の協力を得て「鳥越隣保館」を建設し、農繁期託児所を開きました。同時に、共同浴場の開設、鳥越出産扶助会を結成するなどの活動も展開しました。

この頃から、甚次郎の実践は全国の人々から注目され、多くの見学者が訪れるようになります。また、その活動が新聞・雑誌によって紹介され、講演などの講師依頼が相次いだために、甚次郎の生活は多忙を極めることとなりました。

実践記録「土に叫ぶ」出版

昭和13年、甚次郎は、当時衆議院議員だった羽田武嗣郎(元内閣総理大臣羽田孜の父)の強い勧めにより、過去十年間の実践記録「土に叫ぶ」を出版します。すると、たちまち全国でベストセラーとなり、そ

の後東京有楽座で新国劇として上演されたこともあって、甚次郎の名は日本中に知れわたります。次いで翌年、師・宮澤賢治の作品集『宮澤賢治名作選』を出版。これが賢治の文学や思想を広く人々に知らしめるきっかけとなったのです。

甚次郎、土に還る

昭和18年は史上まれにみる干ばつの年でした。甚次郎や村人たちは新田川の水源、八森山に雨乞いに登りました。連日の過労に続く、無理な登山は甚次郎の体力を奪っていきます。かろうじて帰宅したもの、病に倒れ入院することとなります。そして、その病は癒えることなく、35歳の若さで土に還っていききました。

甚次郎が遺したもの

甚次郎の没後、日本は終戦を迎えます。その後、農地改革などの荒波のなかで、彼の行ったことは、植民地農政に協力した疑いを持たれることとなりました。そして、その名は忘れ去られていくこととなったのです。そして、甚次郎がこの地で農村のために熱く生きた時代から74年が経過した今、再び彼の活動を世に広めようとする動きが出ています。

次頁からは、そんな「しんじょうの種」を咲かせた人々を紹介します。



▲若者たちの前で語る甚次郎



▲鳥越隣保館



▲最上共働村塾と塾生たち

1943
(昭和18年)

8月、35歳で他界

1939
(昭和14年)

『宮澤賢治名作選』を出版

1938
(昭和13年)

「土に叫ぶ」を刊行、ベストセラーに。
東京有楽座で「土に叫ぶ」上演

1934
(昭和9年)

最上共働村塾が2カ年の長期塾に

1933
(昭和8年)

鳥越隣保館を設立

1932
(昭和7年)

最上共働村塾設立

ここに咲いた花＊二輪目

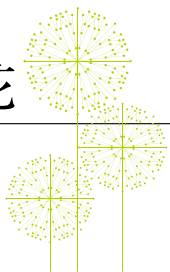
松田甚次郎と地域活動

最上の会



ここに咲いた花

しんじょうの種と松田基次郎



▲平成27年に新築した鳥越公民館「隣保館」



▲平成12年に行った土舞台での演劇



▲鳥越八幡神社にある基次郎の胸像

最上の会とは

最上の会は、基次郎が存命中に作られた団体で、主に最上共働村塾の塾生などが加入していました。現在は、生家を含め、鳥越地区の人々などが基次郎を慰霊する活動を行っています。また、宮沢賢治の故郷、岩手県花巻市にも、賢治の実弟である故・宮沢清六氏を中心とした「若手最上の会」があり、鳥越の最上の会と深く交流を持っていました。

基次郎の没後74年たった今でも、ここ鳥越地区では、毎年、基次郎の命日である8月4日に最上の会のメンバーなどが中心となって、鳥越八幡神社にある基次郎の胸像の前で、追悼式をおこなっているそうです。

今回は、最上の会事務局で、祖父が最上共働村塾の塾生だった吉野昭男さんにお話を伺いました。

今も残る基次郎の教え

「じいさまがやっていたのを見ていたので、こうじも作れるし、私の家ではアンゴラウサギを飼っていたよ。」

基次郎は、村の生活を守るために、自給自足的な農業経営を進め、農作物以外にもホームズパン（糸の太い手織りの毛織物）や果樹、蜂蜜、畜産など、多角経営を行っていました。

吉野さんのお話しに出てくるアンゴラウサギの毛はとても高価で、鳥越地区の人々が飼育していたものを塾生が買い取り、毛織物にしていたようです。また、味噌や醤油も自分たちで作っていたため、こうじの作り方が実践的に伝わっていました。

その他にも、平成18年度まであった鳥越保育園は、農繁期託児所であった「鳥越隣保館」の流れを汲んだもので、市内幼稚園の分園として運営されていました。

守り伝えること

「昔は、隣保館が子どもたちの遊び場だったし、若手最上の会とも交流があったので、基次郎先生の名を意識することが多かった。でも、段々と世の中が豊かになっていくにつれて、基次郎先生の痕跡が消えていってしまったんだよ。」

私たちは、地元の人間として、これを伝えていくことが使命なんだと思っています。」

日本社会の成熟とともに、物質主義的な世の中となつてから、基次郎が成してきたことは一時的にその役目を終えてしまったのかもしれない。

しかし、口伝のように親から子へ、そして孫へ伝えられてきた基次郎の息づかいを絶やさないため、彼が作り上げた「土舞台」を舞台にし、鳥越地

区連合町内会や地元の団体などが協力して野外劇を行ってきました。

平成12年と22年に2度、社会貢献基金を活用して行ったこの野外劇では、宮沢賢治作曲の歌や鳥越神楽を交え、基次郎の生涯をつづった演劇、朗読劇などが行われ、人であふれるほどの満員御礼となりました。

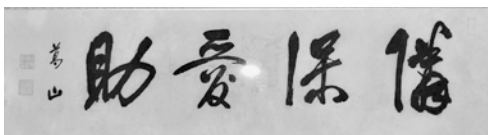
そして、平成27年12月には、鳥越地区公民館の再建にあたって、「隣保館」の名を復活させたのです。

鳥越に残る「隣保愛助」の心

鳥越公民館には、松田基次郎の功績を称えるコーナーが設けられています。そして、人々が集う大広間には「隣保愛助」の書が掲げられています。

「これは、新庄出身の元内閣総理大臣 小磯国昭が朝鮮総督だった時代、基次郎先生が現地の農業指導者として招かれた際に、小磯に依頼して書いてもらったものです。」

最上の会と鳥越地区は、今でもこの基次郎の教えを掲げながら、次の世代にその息吹を伝えています。



▲基次郎が小磯国昭に依頼した「隣保愛助」の書

2000
(平成12年)

土舞台で「大地のシンフォニー」を開催

1993
(平成5年)

没後50周年を記念して鳥越八幡神社に胸像建立
「松田基次郎先生没後50年祭」記念式典

ここに咲いた花＊二輪目

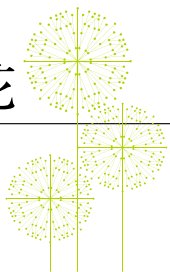
松田甚次郎と地域学習

日新小学校



ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎



日新小学校の取り組み

日新小学校では、「総合的な学習の時間」で地域の偉人を学習しています。この総合的な学習の時間は、平成12年から全国の小学校・中学校・高等学校などで段階的に始まったもので、教科の枠を超えて、子ども自らが考え、課題を解決する能力を育てることを目的としています。

市内各校でも、それぞれが独自に地域性や特色を生かした学習内容を設定しています。

ここ日新小学校では、3年前から、同校出身の偉人でもある松田甚次郎などを5年生時の総合的な学習の時間で学んでいます。そこで、伊東守校長に、どのような狙いがあるか、甚次郎を学ぶ時間を設けているのか、お話を伺いました。

地域を学び地域を愛する心を

「偉人ありきでこの学習をさせたいと思ったわけではないのです。私は3年前に本校に赴任したのですが、校長室にある本棚で見つけた『土に叫ぶ』を読んで、甚次郎の地に足をつけた生き方にとっても感動しました。難しい本ですが、子どもなりに考え、そして調べ、みんなで持ち寄ること、地域に生きた人間を知ることができると思っています。」

日新小学校と日新中学校では、小中一貫の教育目標として「志を持

ち 自らを律し 努力する児童・生徒の育成」を掲げています。その志を育てるために、小学校時代は地域を学ぶ学習を、中学校では地域に愛着を持てる学習を進めています。

実際に、甚次郎について学習した児童の代表として、柿崎君、田宮君、田口さんがこう答えてくれました。

「こんな凄い人が日新の先輩だったことがとても嬉しかった。もうすぐ国語の授業で宮沢賢治について習うので、甚次郎の学習で学んだことと合わせて勉強したい。9月には、修学旅行で岩手県花巻市に行くので、賢治のことを知れるのも楽しみ。」

つなげる学習

小学校6年生の国語の教科書で、宮沢賢治が登場します。5年生で甚次郎を学んだ子どもたちは、その後、宮沢賢治を学び、賢治に関する「調べ学習」を行ってから、修学旅行で賢治の生まれ故郷、花巻市を訪れるのです。

この取り組みも甚次郎などの学習を始めた3年前から行っており、さまざまな教科を横断しながら、児童たちのより深い理解と興味につながっています。

地域と繋がる教育を

この甚次郎の学習は、前頁の最上の会などから講師を招き、地域の人と共に進めています。また、平成12

年の土舞台での劇や、甚次郎を題材とした演劇の舞台にも子どもたちが参加しています。

地域と繋がり、輪を広げていくことで、子どもたちの興味を広げ、より深い学習につながっていくと伊東校長は語ります。

人のこころに種を撒く

最後に、この取り組みを通して感じたことと、甚次郎が成してきたことを教育の目線から見えてどう感じるか、お聞きしました。

「大人から与えられた価値観ではなく、児童一人ひとりの目線で見えていくことがとても重要だと感じています。今回の甚次郎の取組では、『賢治を有名にした人』という視点や、『ベストセラー作家』『裕福なのに貧乏なひとのために頑張った人』など、多くの感想が出ています。そういったものを出し合うことで、自分なりの理解につながるのだと思います。」

そして甚次郎は、言葉だけの先導者ではなく、自ら内に入って、自らの行動で仲間を増やしていったのだと思います。

人のこころに『志』という名の種を撒くことが出来た人なのでしょう。教育もつまるころ、そういうことなのだと感じています。」



▲修学旅行で訪れた宮沢賢治記念館



▲甚次郎を題材とした演劇への参加



総合的な学習で甚次郎と賢治を学ぶ様子

2013
(平成25年)

— 甚次郎没後70周年記念展開催 —

2010
(平成22年)

— 土舞台で甚次郎の生涯を描いた朗読劇を開催 —

ここに咲いた花＊三輪目

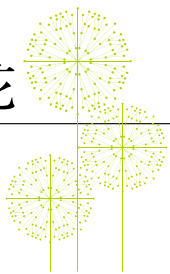
松田甚次郎と演劇活動

新庄演劇研究会



ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎



▲平成27年に上演した「土に叫ぶ 義農 松田甚次郎」の観客席の様子

新庄演劇研究会と松田甚次郎

新庄演劇研究会は、昭和26年に創立した団体で、今年65周年を迎えます。メンバーは19歳から78歳までと幅広い年齢層で構成されており、毎年秋に開催される新庄市芸術祭での定期公演を主な活動としています。また昨年は、その長年の活動が、山形県の文化振興に多大な影響を与えたとして、斎藤茂吉文化賞を受賞しています。

新庄演劇研究会と松田甚次郎の関わりは、平成12年に鳥越土地舞台で行われた劇(7頁参照)への参加協力から始まります。そして平成27年には、定期公演として、甚次郎の生涯を描いた「土に叫ぶ人 義農 松田甚次郎」を上演しました。

この公演は、地方劇団として異例の700人を動員し、平成27年度中に山形県内各地で開催された、

130ものさまざまな分野の芸術活動が審査対象となった「第53回山形県芸術祭」で大賞を受賞したほか、本舞台の舞台照明が平成27年度日本照明家協会賞で入賞するなど、多くの評価を得ました。

今年度、新庄演劇研究会の50回公演を記念し、その伝説の舞台が再演されることとなりました。今回は、これまでの経緯なども含め、2代目会長である菅原文徳さんにお話を伺いました。

「土に息づく賢治の教え」

「松田甚次郎は、この地の演劇の大先輩です。そして、この全国規模の人間が埋もれたままなのは本当に勿体ないと思っていました。」

彼が実践した「演劇」という世界で、地元新庄の人々に、その生きざまを知ってもらえればと思っています。」

ここ新庄には、高校演劇と社会人劇団、子ども芸術学校など含め、5つの演劇団体が存在しています。

県内各地に目を向けても、それほど盛んに演劇が根付いているのは他に類を見ません。宮沢賢治の教え「農村劇をやれ」は、甚次郎を経て今もここ新庄に息づいているのです。

生きることの「熱」を伝えたい

平成27年の公演に引き続き、主役である甚次郎役の松田直也さんに、

その意気込みを聞きました。

「前回の公演のあと、多くの反響と再演の要望を頂きました。主役として、甚次郎の生涯を『演じる』のではなく、『生きる』こと、そして彼の悩み苦悩、喜びの中にある『熱』を伝えていければと思っています。」

それと、若者の流出が地域の課題となっていますが、ここ新庄でもこんなに輝けるんだということを、若い世代にも知ってほしいのです。そのためにも、多くの評価を得た前回を超える舞台にしたいと思っています。」

鳥越で生まれ、同じ松田姓。甚次郎の生きざまをその身に宿して、再演の舞台に臨んで行くのだと語ってくれました。

甚次郎が没してから74年、今度彼らの手によって、その生涯がよみがえります。

土に叫ぶ人 松田甚次郎

～宮澤賢治を生きる～

日時 9/24(日) 14:00開演(13:30開場)

場所 新庄市民文化会館大ホール

チケット前売・当日 1,000円(高校生以下無料)

取扱:市民文化会館、市民プラザ、主催・共催事務局

◎詳しくは、新庄演劇研究会事務局・高山Tel22-6701、新庄の種プロジェクト事務局・八嶽Tel090-2607-3222へ。



2015
(平成27年)

— 甚次郎の生涯をまとめた冊子が完成
— 演劇「土に叫ぶ人 義農 松田甚次郎」上演

2014
(平成26年)

— 甚次郎のまちづくりをテーマにしたトークイベント開催

ここに咲いた花＊四輪目

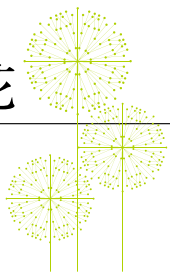
松田甚次郎と新庄の種

新庄の種プロジェクト



ここに咲いた花

しんじょうの種と松田基次郎



新庄の種プロジェクトとは

新庄の種プロジェクトは、平成24年に新庄市役所の若手職員が中心となって、地域資源の再発掘を行うために自主的に結成されました。

職員それぞれが自分の地域の自慢を持ち寄り、報告会などを通して、それらの「種」を共有していきました。この活動の中から、「種」の一つであった「松田基次郎」に再び光をあて、彼が遺そうとしていた愛郷・愛土のこころを地域に伝えていこうという動きが起りました。

新庄の種プロジェクトの八楯代表（市社会教育課）はこう語ります。

「当時、松田基次郎の成してきたことは、今の私たちがらみても凄いことだったと思います。これを地域の人が知らないのは本当に勿体ない。この基次郎の精神が、私たちの地域のスタンダードになればいいと思いました。」

基次郎の名を再び地域に

新庄の種プロジェクトでは、まず、地域から忘れ去られてしまった、松田基次郎の名を復活させることから始めました。

平成25年、広報しんじょうと協力し、没後70年を記念した松田基次郎の特集を掲載しました。この時、同時に雪の里情報館での特設展示と、近江正人氏による記念講演を

実施しました。この特設展示には、宮沢賢治の里である花巻市の大石市長（開催日当時）からメッセージを頂いたほか、講演会では、雪の里情報館開設以来最多の130人もの方々にお越しいただきました。

そのほか、新庄市立図書館や、山形県立図書館の協力により基次郎に関する図書の企画展示も行われました。

翌年、平成26年には、山形県の社会貢献基金を活用し、基次郎の生涯をまとめた小冊子の制作や、尾花沢市出身で脚本家のあべ美佳さんを招いたトークイベント、基次郎に関連する写真のデジタル化、ご存命の塾生ヘインタビューを行い映像として残すなどの事業を展開していき

ました。

「今、新庄ではそれぞれの分野で多くの人たちが頑張っています。そういった人たちの精神は、当時、基次郎がこのまちに抱いていた思いと共鳴するのではないだろうか。」

だから、私たちの活動は、行政の枠を超えて、必然的にそういった人たちが共にやってくる事が出来たのだと感じています。」

平成27年には、前頁の新庄演劇研究会の公演を共催し、基次郎のピアールとして、大きな成果を残すことができました。また、山形県が主催する視聴覚教材コンクールに



▲山形県社会科副読本「郷土 Yamagata」の1ページ



▲雪の里情報館で行った特設展示



▲基次郎没後70周年記念講演の様子

基次郎の生涯を描いた教材を出展、社会教育部門の最優秀賞を受賞しました。この取り組みをきっかけに、山形県の社会科副読本にも松田基次郎が取り上げられることとなりました。

翌、平成28年、これら二連の取組が全国的な評価を得ることとなります。松田基次郎という新庄の種をさまざまな取組を通して広く広報したことが評価され、2017年全国広報コンクールの広報企画部門で入賞することができました。

没後75周年 その先に

来年は、基次郎没後75周年の節目の年、新庄の種プロジェクトは今後どのようなことを考えているのか、八楯代表に改めて伺いました。

「基次郎の没後、花巻と新庄では、色々な交流があったと聞いています。賢治と基次郎の絆を、この75周年を機にもう一度見直したいと思っています。」

また学術的にも基次郎の史料は整備されているとは言えません。そこで、元塾生のご家族からも協力を頂きながら、基次郎の史料整備なども進めていければと思っています。

そして、賢治の精神のもと、全身全霊で地域も社会も耕しつづけた基次郎の愛郷・愛土のこころを、この地域に根付かせていければと思っています。」

2018
(平成30年)

基次郎没後75周年へ

2017
(平成29年)

9月24日
演劇「土に叫ぶ人 松田基次郎」再演

2016
(平成28年)

山形県社会科副読本に
松田基次郎が掲載

特別 対談

松田甚次郎が遺したものの

新庄市長

山尾 順紀

詩人

× 近江 正人

朝日新聞新庄支局長
司会 三木 一哉



この時代においても、なお光り輝く松田甚次郎の功績。
いったい彼がこの地に遺していったものはなんだったのか。

そして、甚次郎の成したことを通して、今を見つめたとき、私たち、新庄最上に生きる人間にどのような意味があるのか。

朝日新聞新庄支局長の三木一哉氏を司会者に、甚次郎の生涯を脚本として世に発信してきた詩人 近江正人氏と山尾市長に語って頂きました。

三木支局長(以下 三木) まず、初めにお二人が松田甚次郎を知ったきっかけを教えてください。

近江正人氏(以下 近江) 私は、生まれも育ちも日新学区だったので、鳥越に松田甚次郎という人物がいたことは、子どもの頃から知っていました。ただ、それが何を成した人なのかは知らず、教員となって、昭和48年に、県立新庄農業高校(現在の神室産業高校)に赴任した際、生徒たちの「郷土の偉人を調べる」という活動を指導していた際に甚次郎を初めて詳しく知りました。

国語教師でしたから、あの宮沢賢治を世に知らしめた人物が、この新庄にいたことがわかり、とても驚いたことを記憶しています。

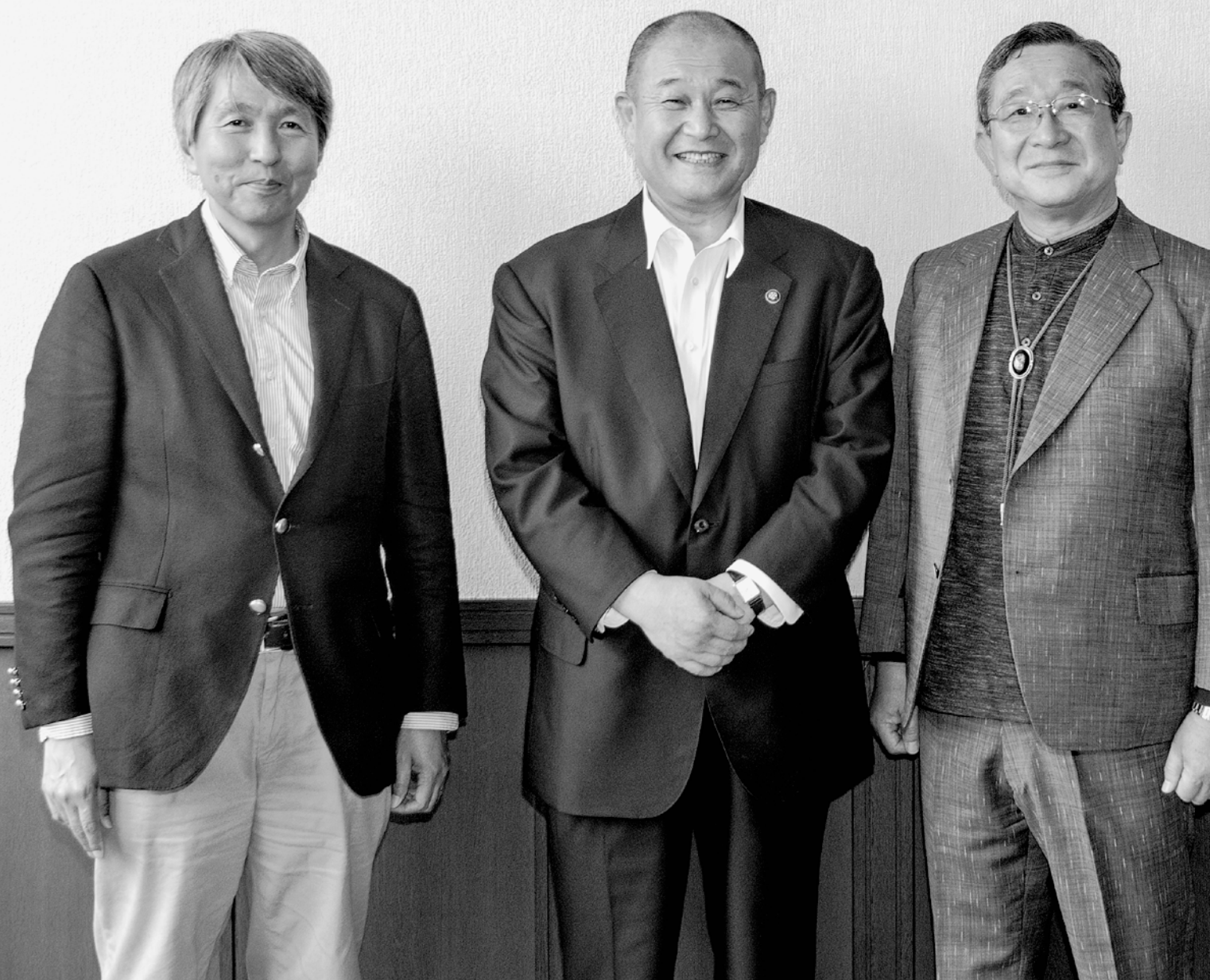
山尾市長(以下 市長) 私は、元々市役所職員だったのですが、社会教育課に所属していた際、市民プラザで行われた「松田甚次郎没後50周年記念式典」の担当をしたことがきっかけです。

甚次郎の没後50年ということで、日本全国に散らばっていた共働村塾の元塾生達から「自分たちも高齢となり、これが最後かもしれないから、ぜひ50回忌を新庄でやってほしい」という要望が多数寄せられたのです。

私自身、その事業を担当するまで、松田甚次郎の名を聞いたことが無かったのですが、式典にお越しいただいた元塾生の方々から、話の端々に「甚次郎

ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎



先生、甚次郎先生」とお聞きし、本当に熱く、そして人の為に生きた人だったんだらうなと思いました。

三木 80年も前から新庄を全国に発信していた人物だったんですね。そのほか、これまでに甚次郎関連の催しはなかったのですか。

近江 平成12年と平成22年に、鳥越土舞台で甚次郎の生涯を描いた演劇や朗読劇が行われました。甚次郎の没後、初めて土舞台が実際に使われたと聞いています。

市長 そうですね。最上の会や鳥越地区の皆さん（7頁参照）がさまざまな取り組みを行っていました。没後70周年以降、近年は、市役所の社会教育部門が中心となって活動を行っています。そういった意味で、甚次郎の成したことは、学問としての検証から、社会教育としての啓蒙へと変化してきているように感じます。

三木 社会教育的な広がりというお話でしたが、甚次郎が成してきたことと、現代社会を見比べたとき、どのようなことを感じますか。

市長 甚次郎は、本当の意味での「リーダー」だったと思います。戦前の農村は、少数の地主と大多数の小作人という構図だったため、小作人たちは本当に貧しい生活を強いられてきました。甚次郎は大地主の家柄だったにも関わらず、賢治の教えを実践し、小作人として、皆と同じ目線で農村を改

革していったのです。

甚次郎の没後、戦後となって「農地改革」が行われました。この改革により、地主制度は終焉、近年まで一定の成功を収めてきたと言えるでしょう。しかし、『農』を経済活動として捉えてきた限界が今、来ているように感じています。『農』は国の根底であるにも関わらず、世の流れとともに、経済の概念が導入されたことにより格差が生じ始めてきたのです。

まさに、地主制度だった時代と同じような構造となつてきています。この時代にこそ、甚次郎のような「間違つていても、そうじゃなくてもいいから、周りと共に突き進めるリーダー」が必要だと思っています。

近江 私もそう思います。ここで甚次郎の成してきたことに目を向けると、甚次郎は、さまざまな農村の課題を解決する方法として、「芸術」を取り入れるという、画期的な手法をとりました。これは宮沢賢治の教え「『小作人たれ』『農村劇をやれ』の実践です。

甚次郎は、村の若者たちと共に、農村劇を始めましたが、この劇のテーマは、いつも村が直面している課題でした。

甚次郎は、村を歩くとき、常時ノートを持参し、気づいたことはすべてメモしていたそうです。そして、それらの課題を農村劇という形で、啓蒙していたのです。娯楽が少なかった当時、村人と共同で作上げたこの劇は、演者

文化を作りながら生きていく。そのエネルギーが新庄人にはある

賢治の教え「農村劇をやれ」は、甚次郎によって今もこの地に生きている。そして今、若い人たちの頑張りが芸術活動においてさまざまな方向に波及している。地域を作っていくのは、そういったエネルギーであり、この甚次郎の精神が次世代の花を咲かすのだと思う。

は勿論、見ている人たちにも大いに受け入れられ、そして実際に成果もありました。

甚次郎が度だけ、賢治に劇の台本のアドバイスをもたらったことがあります。この劇が「水涸れ」という題材で、村の水争いをテーマにしたものでした。この劇がきっかけとなり、10年後、共同の堤が出来ることになったのです。

三木 演劇に関して、新庄はとても盛んだと感じますが、この甚次郎の活動は影響しているのでしょうか

近江 あると思います。そして、新庄最上の演劇の質は非常に高いです。古くから高校の演劇部員と教師たちが取り組んできた成果だと思いますが、「演劇と教育は矛盾しない」と考える指導者が多く、このことは甚次郎が成そうとしてきた、「芸術の力でむらを変えろ」という活動の続きをしているともとれます。

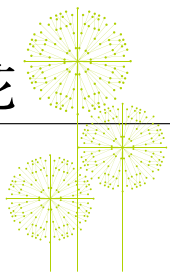
三木 ほかに甚次郎が成してきたことを調べてみると、村に消費組合を作ったり、女性や子どもの愛護運動（地位向上運動）をおこなったりと、彼と同じように格差と向き合った英国の社会主義者ロバート・オーウェンと似ているように感じますがいかがですか。

市長 社会主義的思想というよりも、甚次郎の場合、単純に村のために必要に迫られて行ってきたアイデアの一つなのではないでしょうか。

そしてそれらのアイデアは、少子高

ここに咲いた花

しんじょうの種と松田甚次郎



齢化社会の現代にこそ、改めて地方の活性化に應用できるように感じています。

例えば、甚次郎が作った、農繁期の託児所「隣保館」ですが、共働き世代が多くなっている現代においても重要です。「仕事場の近くに託児所がある」という環境づくりのために、中核工業団地の敷地内に保育所を設置する構想が進んでいます。まさに「現代版 隣保館」です。

近江 女性愛護運動も、疲弊する村を立て直すために女性の力が必要だと感じた甚次郎の優れたアイデアの一つではないでしょうか。

市長 現在の新庄では、若い女性の流出が問題となっています。そのためにも、女性が学べる場、働ける場を作っていく必要があります。今進めている看護学校設立構想も、多くの女性に新庄に残ってほしいという考えからなのです。

三木 さて、最後に来年は松田甚次郎の没後75年の年でもあります。改めて、甚次郎の成したことで現代の新庄を見てどのようなことを考えようか。

市長 高度経済成長を経て日本の社会は成熟してきました。その成熟とあわせて個人主義が広がりましたが、人間は誰しも「誰かと繋がっていたい」という欲求をもっていると思います。

甚次郎は、80年以上も前の時代から理想的なリーダー像を教えてください。



個の時代となってきた今こそ、人と寄り戻さなくてはいけない

社会が成熟し、個が尊重されてきた現代だからこそ、人は本能的につながりを求めているのかもしれない。kitokito マルシェや駅前の芝生プロジェクト、空き屋プロジェクトなど、種が育ち芽吹きはじめている。甚次郎が遺してくれた財産である「共働共栄」という考えをまちづくりの根底に残していきたい。

した。そして現在、新庄でも甚次郎のようなリーダーが多く現れはじめています。自らが中に入り、人と人との繋がりがながら「みんなのために」活動していく。これは今の時代にこそ必要であり、まちづくりの根底にあるべきだと考えています。

近江 甚次郎は、賢治の思想の実践者として、さまざまなことを残してきました。そして、平成の失われた20年を経て、現代社会と甚次郎が生きた時代には重なる部分が出てきたと感じています。今こそ、私たちは先人の成したことを知り、ルーツとして学び批評し、後世に積極的に伝えていく必要があります。

それともう一つ、新庄出身者には多くの文化人がいます。この土地に生きる人間にはその才能があるのだと感じています。甚次郎が成したように、文化芸術はまちを変える力をもっています。ぜひ皆さんには、地元の文化芸術活動に触れてほしいと思っています。

※ロバート・オーウェン(1771-1858)イギリスの実業家。産業革命が引き起こした社会問題と正面から取り組み、教育を通じて労働者階級を救済し、新しい社会を建設しようとした。就学前の子供のための学校を実践したり、初めて国際的な労働者保護を唱えるなど、今の協同組合の基礎を作ったとされる。

5/29 新庄市芸術文化協会功労賞贈呈式
📍 市民プラザ



○ 芸術文化協会功労賞に田澤義人さんと浅沼弘さんの2名が選ばれました。

5/31 「人権の花」植栽式
📍 升形小学校



○ 升形小学校の全児童と、先生や人権擁護委員とで色とりどりの花苗を植えました。

6/3 お祭り歯っぴい
📍 ゆめりあ



○ みんなの歯を守るため、フッ素無料塗布などが行われました。

6/3 障害福祉団体が災害学習会
📍 わくわく新庄



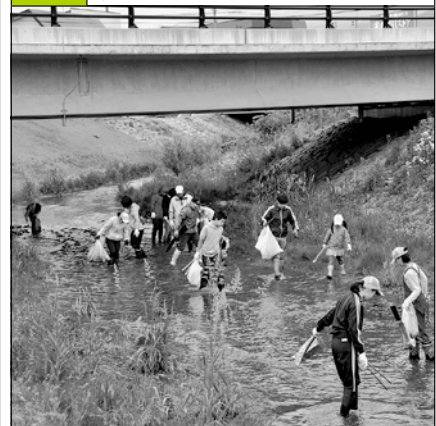
○ 市障害者(児)福祉団体連絡協議会が、講師を招き、災害時の対策について学びました。

6/4 輝くための女性フェス in 新庄もがみ
📍 ゆめりあ



○ 国民的美魔女に選ばれた田中恵さん(右)によるトークセッションなどが行われました。

6/10 指首野川河川清掃
📍 指首野川河川敷



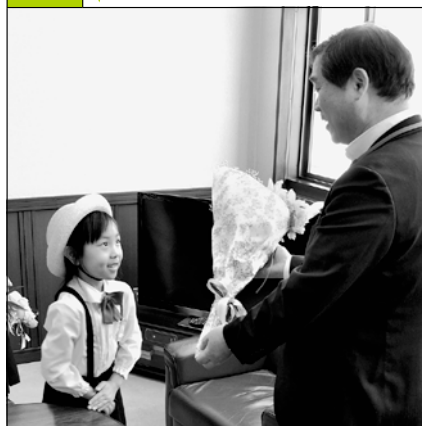
○ さまざまな団体が指首野川をきれいにするため、ゴミ拾いを行いました。

6/11 市民体力測定会
📍 山屋セミナーハウス



○ 多くの人が体力測定を受け、自分の体力を測りました。

6/14 マルコ幼稚園園児が花を贈呈
📍 市役所



○ 毎年きれいな花とメッセージをいただいています。いつもありがとうございます。

6/17 岡田理知の世界展開催
📍 新庄最上漫画ミュージアム



○ 岡田理知作画の「みをつくし料理帖」ドラマ化を記念して、特別展が開催。(～7月17日(金))



6/18 新庄風フェスティバル
📍 最上中央公園(かむてん公園)



○ 大人から子どもまで、風を揚げるために走りながら、空高く舞う風を楽しみました。

6/18 kitokito マルシェ「肉フェス」
📍 エコロジーガーデン



○ 今回はおいしい「肉」をテーマに開催され、去年に引き続き大盛況でした。

6/24 健康福祉まつり
📍 ゆめりあ



○ 子どもからお年寄りまで、600人を超える市民らが、自身の健康や福祉について楽しみながら学びました。



6月のまちかど PICK UP!

新庄東高等学校柔道部優勝報告 南東北インターハイ出場決定

6月8日

📍 市役所、新庄東高等学校



○ 県高校総体男子団体、男子・女子個人3名が優勝を果たし、南東北インターハイの出場を決めました。

今年は、インターハイが地元開催ということもあり、選手個々人のやる気が一層高まっています。新庄東高校の柔道部以外にもインターハイ出場を決めている選手たちが多数います。彼ら彼女らの活躍にご期待ください。

インターハイ出場メンバー

男子団体	阿部 拓馬	(3年)
	佐藤 麗王	(3年)
	山科 快斗	(3年)
	嶋田 汰星	(3年)
	井上 隼	(2年)
	高橋 良汰	(2年)
男子個人	阿部 拓馬	(3年)
女子個人	渡部 桂衣	(3年)
	青柳ほのか	(3年)



高校生最大のスポーツの祭典



インターハイ

～ Inter-High School Athletic Meeting ～



がやってくる

**バドミントン競技
会場：市体育館**

- 学校対抗 女子 1回戦～3回戦 ……7月30日(日)
- 個人対抗 女子 1回戦～準々決勝戦 ……8月1日(火)～2日(水)
(シングルス・ダブルス)
- 男子・女子 準決勝～決勝戦 ……8月3日(木)

インターハイ(全国高等学校総合体育大会)が市体育館を会場に上記の日程で開催されます。この大会は、高等学校教育の一環として、高校生に広くスポーツを実践する機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年の育成を目的に全国高等学校体育連盟が主催しています。

●インターハイの歴史

インターハイの歴史は長く、昭和23年6月、全国高等学校体育連盟が創設され、それまで種目ごとに分かれ独立していた各競技団体の全国大会を統合し、昭和38年に第1回大会が開催されました。以来インターハイは高校生の競技者にとって一つの目標であるとともに、日本のスポーツ界を担っていく次世代の選手の育成といった役割も果たしてきました。

また、インターハイは夏季大会と冬季大会に分かれ、主に8月に開催される夏季大会では、約30競技が行われ、12月下旬から2月の間に開催される冬季大会ではスキー・スケート・駅伝・ラグビーなどの競技が行われます。

夏季大会の開催地は毎年持ち回りで、各都道府県が担当していますが、平成23年から地域ブロックごとの開催となりました。

●南東北インターハイ

今年度は、山形県が幹事県となり、宮城県・福島県とともに「南東北インターハイ」として開催されます。山形県では、9競技10種目が行われます。

今回、「バドミントン競技」が本



▲県総体(インターハイ予選)の様子

市・鶴岡市・尾花沢市の3市を会場に行われ、昭和47年以来2回目の開催となります。全国を勝ち抜いた選手が学校対抗戦、個人対抗戦(シングルス・ダブルス)に臨みます。大会の開催にあたっては、高校生一人ひとりが大会の開催準備・運営に主体的・積極的に取り組み、高校生最大のスポーツの祭典を自らの手で作り上げた達成感を共有できる大会の運営に努めます。

また、全国から訪れる大会参加者をおもてなしの心で温かく迎え、感謝の気持ちを表すとともに、本市の豊かな自然・歴史・文化・食などの魅力を全国に発信し、参加者の心に残る大会を目指します。



バドミントン競技出場の本山学園の選手のみなさん

大又 優希さん(3年)、柿崎 俊樹さん(3年)
本間 優芽さん(3年)、小関 萌花さん(3年)

※全員
日新中学校卒

地元で試合ができることの喜びを胸に、お世話になった方々への恩返しができるよう、若い頃から一緒に頑張ってきた仲間と共に頑張ります。目標ベスト8!

インターハイ出場を目指して切磋琢磨しながら歩んできた新庄地区の選手の方まで頑張ってください。地元の声援を力に変えて、最後まで自分らしく全力で戦ってください。選手の皆さんの活躍を期待しています。



昭和47年インターハイバドミントン競技出場

沼澤 洋子さん(新庄南高校卒業)

繋がる絆 魅せよう僕らの若さ

南東北インターハイに懸ける 出場者たちの意気込み



地元山形も含めた南東北インターハイとなるため、入賞を目指します。また、小さい頃からお世話になった支部長をはじめとする崇武館新庄支部の皆さんに恩返しができるよう頑張ります。

空手道競技(福島県開催)

齋藤 沙希さん(天童高校3年/明倫中学校卒)



リバウンドから始めるバスケットが自分の持ち味。攻撃の起点を自分から作っていききたい。

子どもたちがもっと上を目指したいと思えるよう、自分の活躍により地元を盛り上げていきたい。

バスケットボール競技(福島県開催)

矢口 翔さん(羽黒高校3年/日新中学校卒)



国体や選抜大会には選ばれていたが、インターハイに出場するのは初めて。特に今年は東北開催。出るからには上位を目指し、学校・顧問の先生・先生に恩返しができるよう頑張りたい。

自転車競技(福島県開催)

武田 陽さん(新庄神室産業高校3年/明倫中学校卒)



地元・東北での開催となることから、結果を出して盛り上げたいです。母校からは個人戦3名と男子が団体戦に出場することから、みんなで東高カラーを出して頑張ります。

柔道競技(福島県開催)

渡部 桂衣さん(新庄東高校3年/萩野学園卒)

= 新庄市出身でインターハイに出場する選手たち(敬称略) =

- | | |
|------------------------------------|--|
| ■陸上……………武田萌伽(新庄東)、阪 希望(山形中央) | ■サッカー……………小嶋克哉(山形中央) |
| ■自転車……………由利左近(新庄神室産業)、叶内比呂(新庄神室産業) | ■ソフトテニス……………高橋嵯和(酒田南)、三浦朱璃(羽黒) |
| ■ソフトボール……………森 雅(鶴岡東) | ■空手道……………阿部莉々子(天童)、石田竜聖(東海大山形)、石田聖哉(東海大山形) |
| ■バスケットボール……………田中美帆(山形中央) | ■柔道……………山科快斗(新庄東) |



最北地区高校生活推進委員会

奥山 思さん、齋藤はるのさん
(新庄南高校) (新庄東高校)

私たちが南東北インターハイをサポートします!

この度の広報・啓発活動を通し、大会の成功と同時に、山形県の美味しいものや良いところをたくさん知ってもらい、山形県の活性化につなげたいと考えています。

選手の皆さんには、自分のやってきたこと、仲間を信じて最後まで頑張ってもらいたいと思います。

▶インターハイを応援するため、新庄神室産業高校の生徒たちと一緒に歓迎用の花苗を植えました。



平成29年度版 明日への確かな備え

国民年金



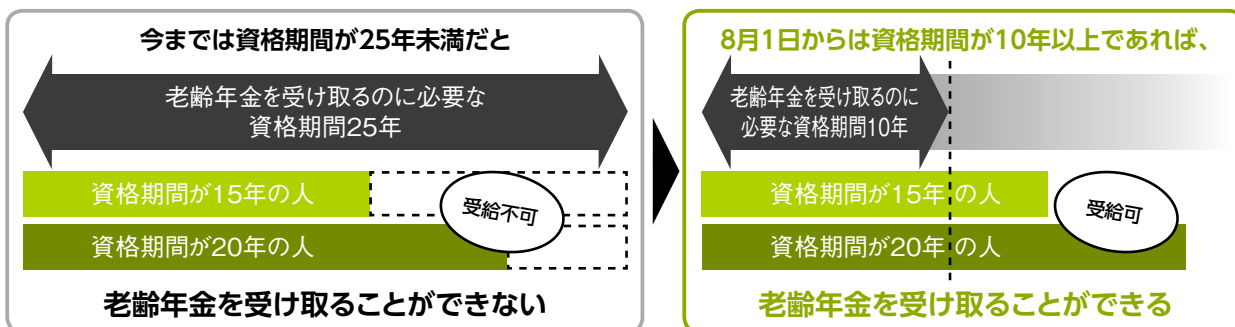
国民年金制度は、だれもが安心して老後を迎えられるよう、国(税金)と被保険者(保険料)が年金支給により世代を超えて暮らしを支える制度です。

また、老後だけではなく、万一の場合に障害基礎年金や遺族基礎年金などを支給することにより、本人や残された家族などの生活を支えます。

必要な資格期間が25年から10年に短縮されます

今までは、老齢年金を受け取るためには、保険料納付済期間(国民年金の保険料納付済期間や厚生年金保険、共済組合等の加入期間を含む)と国民年金の保険料免除期間などを合算した資格期間が25年以上必要でした。

8月1日からは、資格期間が10年以上あれば老齢年金を受け取ることができるようになります。



資格期間って
なんのこと
?



- 国民年金の保険料を納めた期間や免除された期間
 - サラリーマンの期間(船員保険を含む厚生年金保険や共済組合等の加入期間)
 - 年金制度に加入していなくても資格期間に加えることができる期間(通称:カラ期間)
- ※①昭和61年3月以前に、サラリーマンの配偶者だった期間、②平成3年3月以前に学生だった期間、③海外に住んでいた期間、④脱退手当金の支給対象となった期間など、過去に国民年金に任意加入していなかった場合などでも、年金の受け取りに必要な資格期間に含むことができる期間です。ただし、年金額の算定には反映されません。

これら3つの期間を合計したものが「**資格期間**」です。

注:年金の額は、納付した期間に応じて決まります。
40年間保険料を納付した方は、満額
10年間保険料を納付した方は、満額の1/4ほど



期間短縮で対象となる方は 手続きが必要です。

新たに年金を受け取れるようになる、資格期間が10年以上25年未満の方には、日本年金機構より年金請求書(「短縮」と記載したA4サイズの黄色封筒)を順次お送りしています。

まだ請求手続きをされていない方は、「**ねんきんダイヤル(0570-05-1165)**」で予約の上、できるだけお早めに手続きをお願いします。

	送付している時期 (生年月日により異なります)	年金請求書が送付される方 ※年金を受け始める年齢は男女で異なります
①	2月下旬～3月下旬	大正15年 4月2日～昭和17年 4月1日生まれ
②	3月下旬～4月下旬	昭和17年 4月2日～昭和23年 4月1日生まれ
③	4月下旬～5月下旬	昭和23年 4月2日～昭和26年 7月1日生まれ
④	5月下旬～6月下旬	昭和26年 7月2日～昭和30年10月1日生まれ【女性】
		昭和26年 7月2日～昭和30年 8月1日生まれ【男性】
⑤	6月下旬～7月上旬	昭和30年10月2日～昭和32年 8月1日生まれ【女性】
		大正15年 4月1日以前生まれ 共済組合等の期間を有する方

※資格期間が10年未満の方へも、年内をめどにお知らせの送付を開始します。

60歳以上の方も国民年金に加入できます(任意加入制度)

希望される方は、「60歳から65歳まで」の5年間、国民年金保険料を納めることで65歳から受け取る老齢基礎年金の額を増やすことができます。また、資格期間が10年に満たない方は、最長70歳まで国民年金に任意加入することで、資格期間が増え、年金を受けとれるようになります。

ご利用いただけるのは、次の①～④のすべてに該当する方です

- ①60歳以上65歳未満の方(年金の受給資格期間を満たしていない場合は70歳未満の方まで)
- ②老齢基礎年金の繰上げ支給を受けていない方
- ③20歳以上60歳未満までの保険料の納付月数が40年(480ヶ月)未満の方
- ④現在、厚生年金保険に加入していない方

※外国に居住する日本国籍をお持ちの方も加入できます



過去5年間に納め忘れた保険料を納めることができます(後納制度)

過去5年以内に国民年金保険料の納め忘れがある場合も、申し込みにより平成27年10月から平成30年9月までの3年間に限り、保険料を納めることができます。保険料を納めることで、年金を受けとれるようになったり、年金額が増えたりします。

ご利用いただけるのは、次の①または②のいずれかに該当する方です

- ①5年以内に保険料を納め忘れた期間がある方(任意加入中の保険料も該当します)
- ②5年以内に未加入の期間がある方(任意加入の対象となる期間は該当しません)

※60歳以上で老齢基礎年金を受け取っている方は申込みできません



いまいちど自身や家族の年金を確認してください

■切替忘れによる保険料未納期間などはありませんか？

会社員の夫が退職したときや、妻の年収が増えて夫の健康保険の被扶養者から外れたときなど、国民年金を3号から1号に切替が必要です。過去に2年以上切替が遅れた方は、切替が遅れた期間の記録が保険料未納期間になっています。

「特定期間該当届」の手続きをすることで、年金を受け取れない事態を防止することができます。また、「特例追納制度」を利用して、最大で10年分の保険料を納め、受けとる年金額を増やすことができます。納付できる期間は平成30年3月までです。

■受給資格を確認する方法

「ねんきんネット」や「ねんきんダイヤル」をご活用いただくか、年金事務所にお問い合わせください。

ねんきんネット→「ねんきんネット」で検索
ねんきんダイヤル→Tel0570-058-555

※050で始まる電話の場合は
Tel03-6630-2525

7月のお知らせ

■国民年金保険料免除申請

保険料を納め忘れた状態で、障害や死亡といった不慮の事態が発生したとき、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられないことがあります。

経済的な理由などで納付が難しい場合は、保険料の納付が免除・猶予される「保険料免除制度」や「納付猶予制度」があります。免除などの受付は7月1日から始まり、平成29年度7月分から平成30年6月分までの期間が対象です。

■障害基礎年金受給者の届出

障害基礎年金(年金コード2650又は6350)の受給者には、すでに日本年金機構からご案内があったとおり、今月末までに所得状況届や診断書を市役所市民課に提出してください。届出が遅れると、年金の支給が停止されることがあります。

詳しくは、新庄年金事務所 Tel22-2050 または 市民課国民年金担当 Tel内線133・134

今月の新着

郷土本

鷹羽狩行俳句集成(館内でご覧になれます)

..... 鷹羽 狩行

一般図書

劇場..... 又吉 直樹
 掟上今日子の裏表紙..... 西尾 維新
 アノニム..... 原田 マハ
 祭りさんぽ..... 上大岡トメ
 標本BOOK..... さとうかよこ
 四季の筆ペン画48のポイント..... 本多豊國監修
 長生き猫の暮らしとお世話..... 今泉忠明監修
 仕立てのきれいな着ごこちのいい小さな子の服
 野木 陽子

児童書

ぼくのイスなのに!..... ロス・コリンズ
 いつも100てん!?おばけえんぴつ..... むらいかよ
 給食室の日曜日ゆれるバレンタインデー
 村上しいこ
 世界恐竜発見地図
 ヒサクニヒコ
 小学生のかっこいい!!!自由研究
 成美堂出版
 ばけこちゃんのたなばた
 (紙芝居)
 荻田 澄子



今月のお知らせ

夏休み☆おべんきょうそうだん

- とき 7月28日(金)・29日(土)
9時30分～12時、13時～15時
- ところ 図書館の2階第一講座室
- 内容 宿題・読書感想文・自由研究など

こどもサマーフェスティバル

- とき 8月1日(火)10時～
- ところ 図書館庭園
(雨天は図書館2階講座室)
- 内容 かやのみ会・新庄南高校図書委員による大型紙芝居、パネルシアター、大型絵本、手遊びうた、えまきえほんなどの特別なおはなし会

ゆったり、のんびり。読書の時間

図書館に行こう!

図書館でゆったりすごしてみませんか?

ちょっと深い しんじょうの歴史

ちょっとした話題とその出典を毎月紹介!

右 最上の歴史/大友義助監修
 左 新庄市史別巻自然・文化編/新庄市編集
 ※いずれも市立図書館蔵書



新庄に多い大昔の遺跡

長澤正機氏

新庄盆地の中心部の新庄市は、大昔の旧石器時代の遺跡がとて多く、石器群が豊富な所として、県内はもちろんのこと、全国的にも知られています。私も大学一年のときに知り、昭和37年の夏に志願して、山屋遺跡と横前遺跡(当時は東山遺跡と呼ばれていた)の発掘調査に同行しました。

横前遺跡の調査区域から、いろいろな石器が次々と出土し、その見事さに感動したことを今でも思い出します。これらの出土した石器の実測図を書いたりしました。出来上がった報告書は「山屋・東山遺跡―山形県新庄盆地東縁部の先縄文時代遺跡予報―新庄市教育委員会報告書1」として昭和

和39年2月付で発行されました。以降、市教育委員会報告書として「南野遺跡」「山屋A遺跡」「乱馬堂遺跡」が発行され、いずれも旧石器時代が中心で、私が調査担当および執筆責任を務めています。中でも四次におよぶ乱馬堂遺跡の報告書は、独特なナイフ形石器、搔器、彫刻刀など、石器群の逸品揃いが、全国の研究者に注目され続けています。出土品は歴史センターに並べられ、報告書などの関連書籍は図書館に所蔵されています。



▲ふるさと歴史センター展示の市内で出土した石器

中学英語 塾講師募集

～あなたの英語力、活かしませんか?～

- ・シフト 曜日、時間帯 応相談(週1～OK)
- ・時給 1200円(1コマ90分、1800円)

学習塾きたうら 29-5353

HP 子「学習塾きたうら」で検索

代替は信頼のある地元の畳店へ

新庄畳同業組合

矢作畳店 新庄市万場町8-18 ☎(22) 1637	中島畳店 新庄市末広町10-13 ☎(22) 4370	柴崎畳店 新庄市万場町1-42 ☎(22) 4404	笹原畳店 新庄市大町21-15 ☎(22) 3358
----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

※見学会は新庄市加賀町へ



中学生
高校生

のみなさん

ボランティア活動やってみませんか?



「ボランティア」というと、どのような活動を思い浮かべますか?ゴミ拾いや花植えなどの美化活動や、施設訪問などを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。この他にもイベントの運営ボランティアやボランティア交流会など、市内では中学生・高校生の様々な活動が行われています。



kitokito マルシェ



高萩市・新庄市児童交流



雪の里まつり



成人式



地区ボランティア交流会



かむてん公園花植え

ボランティア 4つの原則

- 自主性・主体性……強制や義務ではなく自分の意思による活動
- 社会性・連帯性……お互い学びあい、支え合う活動
- 創造性・先駆性……目の前の課題に対して何が必要か考え創り出していく活動
- 無償性・非営利性……報酬や金銭的な見返りを求めない活動

ボランティア活動に 取り組んでみませんか?

7月上旬には各中学校・高校に夏の体験ボランティア募集のお知らせが配布されます。ボランティアの4原則を踏まえ、まずは自分が楽しめる活動から取り組んでみませんか?そのほか、市では中学生・高校生の登録ボランティアや、高校生ボランティアサークル「しずく」のメンバーを随時募集しています。

登録ボランティア

登録された生徒の皆さんには、市より随時ボランティア情報が届きます。

ボランティアサークル「しずく」

左記に加え、月1回程度の定例会やメンバー同士の情報交換、自主企画の検討などを行っています。

詳しくは、◎社会教育課 Tel内線461へ

がんばるあなたを応援します——

准看護師から看護師へ

平成30年4月入学生募集中
平成30年4月入学生から、
就業経験7年以上で
本校への入学が可能になりました

- 看護師養成所
2年課程【通信制】
- 教育訓練給付制度
厚生労働大臣指定講座
(条件あり)

▶山形開催

学校説明会

8/20日▶酒田会場
酒田市総合文化センター

10/11日▶鶴岡会場
庄内産業振興センター

▶仙台開催

オープンキャンパス

9/24日

11/25日

- *自由に好きな時間に
参加できます。
- *詳しい開催情報は
下記webサイトを
ご確認ください。



東北福祉看護学校
TOHOKU FUKUSHI NURSING SCHOOL

お問合せ
資料請求

〒983-8511 宮城県仙台市宮城野区榴岡2丁目5番26号
東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
TEL ☎022-292-2511 進学相談専用ダイヤル☎022-292-2662
FAX ☎022-292-2611 URL ☎http://tohoku-kango.com/

web
サイト▶



※お詫びと訂正

6月23日号お知らせ版のわらすこひろばの7月の予定欄に誤りがありました。訂正してお詫びします。
(正)22日(土) モコマルシェ(会場:ゆめりあ)
27日(木) 子育て・栄養相談
※15日(土)は無料開放日

- ところ 市民プラザ3階調理室
- 内容 お盆のおもてなし料理
- 参加費 500円 ■定員 24名
- 申込締切 7月25日(火)
- 持ち物 エプロン、三角巾、お手拭き

市民映画劇場「3月のライオン(前編)」

◎プライマルプロジェクト Tel090-4310-4901

- とき 8月5日(土)14時30分～、18時30分～(上映約140分)計2回
- ところ 市民プラザ大ホール
- 料金 一般1,300円、小中高生800円(市民プラザ、八文字屋にて発売)
- ※3日前まで予約すると託児室(1人400円)を利用できます。

第3回 たんぽぽクラブ

◎金沢幼稚園 Tel22-6052

- 対象 2歳～4歳の幼児と保護者
- とき 8月5日(土)10時～11時30分(受付は9時20分～40分) ■ところ 金沢幼稚園
- 内容 プールあそび!(大きなプールでじゃぶじゃぶ遊ぼう) ■持ち物 内履き、水着、タオル ■参加費 200円

やまがた百名山空蔵登山会

◎新庄自然に親しむ会・今田 Tel090-7565-6961

- とき 8月11日(金)7時～
- 集合場所 旧山屋キャンプ場駐車場集合
- 内容 山屋「一の滝」コースの往復、山荘での矢口末吉氏の講演
- 参加費 1,000円 ■定員 15名
- 申込締切 7月23日(日)

第39回新庄市総合体育大会 バレーボール競技

◎新庄地区バレーボール協会・永井 Tel080-1839-8353

- とき 8月6日(日) ■ところ 市体育館

農林業体験教室参加者募集

◎農林大学校教務学生担当 Tel22-1527

- 対象 県内中学生 ※保護者も可

- とき 8月8日(火)10時10分～15時50分
- ところ 県立農林大学校
- 参加費 500円(昼食込)
- 定員 10名 ■内容 農林業体験(果物・野菜の収穫、加工体験など)
- 申込締切 8月1日(火)

いす-1グランプリ

◎いす-1GP東日本大会実行委員会 Tel32-0525

- とき 7月22日(土)17時～
- ところ 南本町商店街
- 内容 商店街の特設コース(1周200m)を事務イスに座ったまま2時間で何周回れるかを競うレース
- ※出店が並ぶ「まちなか夜市」も同時開催

kitokito環境芸術祭2017出展作品募集

◎商工観光課クールジャパン新庄推進室 Tel内線249

- 新庄市エコロジーガーデンの緑豊かな自然環境をキャンバスにして、新庄・最上の自然や文化をテーマとしたアート作品を募集します。
- 申込締切 7月28日(金)
- ※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

マルコ夏まつり

◎新庄聖マルコ幼稚園 Tel22-1569

- 対象 1歳～4歳児
- とき 7月15日(土)16時～18時
- ところ 新庄聖マルコ幼稚園
- 内容 綿菓子、アイス、おもちゃ、買い物体験、お遊戯など

もがみの省エネルギー住宅・再生可能エネルギー設備導入促進セミナー

◎最上総合支庁環境課 Tel29-1285

- とき 7月28日(金)13時30分～16時
- ところ 最上総合支庁講堂
- 内容 講演:「住まいの高断熱化は誰のため?何のため?」、事例発表:「県内各地域における太陽光発電のデータ等について」など
- 講師 県立産業技術短期大学校教授 江川嘉幸氏

	36,503人	(36,871人)	5月の異動
5月末現在の 新庄人	男 17,380人	(17,543人)	出生 26人 (20人)
	女 19,123人	(19,328人)	死亡 39人 (45人)
	世帯数 13,882世帯	(13,826世帯)	転入 76人 (100人)
	※()は1年前の日本人+外国人の数です。		転出 66人 (80人)

催しなど

雪調勉強会

- とき 7月22日(土)10時～11時
- ところ 雪の里情報館
- 内容 「新庄町青年革新同盟の誕生」について研究家水越啓二氏の講演、意見交換
- 参加費 無料 ■定員 30名
- 申込締切 7月18日(火)
- ◎雪の里情報館 Tel22-7891

雪の里 夏雪体験ツアー

- 対象 小学3～6年生と保護者
- とき 8月4日(金)13時～17時
- ところ 雪の里情報館
- 内容 人工雪体験、雪を使ったアイスづくり
- 参加費 無料 ■定員 40名(要申込)
- 申込締切 8月1日(火)
- ◎雪の里情報館 Tel22-7891

夏休み講座「新庄のお宝を訪ねよう!」

- 対象 小学5～6年生
- とき 8月10日(木)8時30分～12時
- ところ 雪の里情報館
- 内容 新庄の名所と史跡を探访
- 参加費 無料 ■定員 20名
- 申込締切 8月6日(日)
- ◎雪の里情報館 Tel22-7891

産直まゆの郷「土用まつり」

- とき 7月30日(日)9時～18時
- ところ 産直まゆの郷 ■内容 旬の夏野菜、花などの農産物の販売、農産物のプレゼント、焼きおにぎりの販売など
- ◎産直まゆの郷 Tel23-5007

夏休み親子科学教室

- 対象 親子など20組(主に5・6年生)
- とき 8月8日(火)13時30分～14時45分
- ところ 教育研究センター
- 内容 「熱のミラクル教室」熱の不思議を実験で体験してみよう
- 講師 放送大学山形学習センター所長 櫻井敬久氏(山形大学名誉教授)
- ◎放送大学山形学習センター Tel023-646-8838

有料老人ホーム日和式番館(住宅型) 7月1日 オープン!

「見学ご予約・入居受付 開始しております」

バリアフリー、ナースコール
スプリンクラー等完備で安心

それぞれの元気な暮らしをサポート致します。

●入居定員: 10名(2人部屋)

●入居費用: 1ヶ月70,000円

※入居費用には、食費・家賃・管理及び光熱費が含まれています。
(別途介護保険負担分を申し受けます)

新庄市本町4-3 3こらっせ新庄2階 日和式番館

Tel0233-32-0565

担当: 日下部(くさかべ)



後期高齢者医療保険者証、 国民健康保険高齢受給者証の更新

後期高齢者医療被保険者証、国民健康保険高齢受給者証の有効期限は7月31日です。新しいものを7月下旬に郵送します。
◎健康課国保医療室 Tel内線512・517

後期高齢者医療制度の限度額 適用認定証をお持ちの人へ

後期高齢者医療制度の限度額適用認定証の有効期限は7月31日です。8月1日から低所得I・IIに該当する人には、新しい認定証を7月下旬に郵送します。
◎健康課国保医療室 Tel内線512・517

限度額適用認定証が必要な人へ

8月以降の国民健康保険、後期高齢者医療制度の認定証が必要な人は、健康課窓口(⑥番)で申請してください。申請受付は7月24日(月)からです。
■持ち物 保険証・印鑑(国保加入者は世帯主の印鑑)、マイナンバーの分かるもの(国保加入者と世帯主と必要な人)
◎健康課国保医療室 Tel内線512・517

お金のトラブルなんでも無料相談

◎(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 Tel090-7066-0187

- とき 7月30日(日)9時30分～14時30分
- ところ 市民プラザ3階第5研修室
- 内容 多重債務や借金問題、遺産相続問題、高齢者などの財産管理の問題(成年後見制度の活用など)、訪問販売による購入商品のトラブル、ネットトラブルなどの相談
- 参加費 無料 ※予約不要

つや姫マイスターに聞く これからの農業と組織づくり

◎農林課農村整備室 Tel内線266

- とき 8月3日(木)14時～15時30分
- ところ 市民プラザ3階小ホール
- 内容 つや姫の産地ブランド化など、先

進的な農業経営で知られる「つや姫マイスター」から、今後の農業経営と農業後継者育成を学ぶ講演会

- 講師 土屋喜久夫氏(つや姫マイスター)
- 参加費 無料

地元出身看護学生「地域医療研修会」

◎健康課母子保健推進室 Tel内線514

- 対象 最上地域出身看護学生
- とき 8月15日(火)
- ところ 県立新庄病院・町立真室川病院
- 参加費 無料 ■定員 10名
- 申込締切 7月28日(金)

聴覚障がい者IT講習会

◎山形県聴覚障がい者情報支援センター Tel023-666-7616

- 対象 IT機器初心者者の聴覚障がい者
- とき 9月2日(土)、3日(日)10時～17時
- ところ 山形県聴覚障がい者情報支援センター ■内容 IT基礎技能の演習(手話通訳、要約筆記あり)
- 参加費 無料 ■定員 先着5名

新南祭～地域を結ぶ幸せの輪～

◎新庄南高等学校 Tel22-1547

- とき 7月22日(土)10時～15時【保護者・招待者・中学生公開】、23日(日)10時～14時【一般公開】
- ところ 新庄南高等学校
- 内容 文化部の作品展示・発表、生徒会企画、クラス企画、ステージ発表、金山校の取り組み、模擬店など
- 持ち物 内履き

モンテディオ山形新庄市応援デー

◎市体育館 Tel22-0681

- とき 7月22日(土)18時開始
- ところ NDソフトスタジアム山形
- モンテディオ山形の試合を半額で見ることができる年1回のチャンス!
- 対戦相手 湘南ベルマーレ
- 料金 1,500円(バックスタンド席半額)
- 申込締切 7月21日(金)

■申込締切 8月23日(水)

灯籠作りのお手伝い募集

◎升形川に親しむ会・笹原 Tel23-0288

- とき 7月22日(土)、23日(日)9時～
- ところ 笹原宅小屋(下金沢町6-19)

灯籠流し

◎升形川に親しむ会・笹原 Tel23-0288

- とき 7月28日(金)18時30分～(雨天時翌日に順延) ■ところ 升形川(旧戸前川) 県立新庄病院脇
- 内容 ゆっくりと流れる1800個の灯籠と岸辺の絵灯籠が川面を彩ります。
- ※15時から先着100名に灯籠配布

バザール&夜市

◎新庄・最上をげん氣にする会 Tel22-2340

- とき 7月15日(土)15時～20時30分
- ところ いこいの広場アピエス 市町村の逸品・物販・美食・味覚が一堂に集まり、ダンスや演芸ショーなどが行われます。

たっぷりトマト料理教室

◎事務局・笹 Tel22-2086

- とき 7月27日(木)①11時～、②18時～
- ところ 市民プラザ調理室
- 講師 笹美知子氏 ■参加費 2,500円
- 申込締切 7月25日(火)

ゆめりあ夏休み子ども映写会

◎ゆめりあ事務局 Tel28-8888

- とき 7月31日(月)～8月4日(金)10時～15時20分 ※各日4回
- ところ ゆめりあホール・アベージュ
- 入場料 無料 ※予約不要
- 内容 日本むかしばなしなど上映
- 定員 1回あたり93名

郷土料理教室

◎食改事務局(健康課内) Tel内線516

- とき 8月4日(金)9時30分～12時

有料老人ホーム
カイセイホーム
スタッフ募集中
介護員・介護員補助(夜間勤務専従でも可)
ケアマネジャー ※ハローワークへお問い合わせください
カイセイ介護センター 新庄市末広町 7-4 ☎29-2912

懇親会に『ルームス』プレミアムプラン
山形牛をはじめとする肉づくし宴会!
カラオケ 飲み放題 コース料理
3時間 3時間 9品 特典
ご予約時に「市報見た!」で
4,320円(税込) 4,000円
でご利用頂けます!
個室ダイニングカラオケ「ザ・ルームス」〒996-0023 山形県新庄市沖の町1-15 午前11時～翌朝5時まで営業
THE★ROOMS 0233-28-1151

しんじょうラボ

女性の女性による女性のための新庄暮らし研究所

レポート No.04

しんじょう交流会レポ②
テーマ:夫婦の約束、ありますか？



続・第1回目の交流会レポート

前回の6月号に引き続き、5月に開催された「春のしんじょう交流会」の様をお届けします。今回は「結婚時にパートナーとどんな約束をしたか」がテーマ。子どもが生まれてからのことを明確に決めた夫婦もいれば、「先のことはわからないけど、コレだけは！」という1つの決め事をした夫婦も。その後の生活はどうなっていたのでしょうか。

「まずはお金のこと！」

結婚生活のスタート時、ほとんどが金銭面について話し合うことから始まります。「お金に関することは必ず報告」と約束した夫婦は、夫がお財布を管理していました。また、夫側が何かを決めるのが苦手だという夫婦も、流れの中でお金に関する決め事を作っています。農家で多世代同居の夫婦は、家全体の収入が明確ではなく食費も家の財布から出ているので、これから決めていきたいとのこと。夫が自営業で妻が経費のレシートを管理しているという夫婦は「隠し事はしない」という約束をして、何でも相談しようと話しているそうです。

「子どもが産まれたら、こうしよう」

「夫に育休を取ってねとお願いして、実際に取得してくれました」という夫婦は、結婚時にその約束をしていました。日中に一人で赤ちゃんの面倒を見てみたことで、出産後の女性の日常のめまぐるしさを夫自ら体感して、その後も家事は平等に分

担、共働きの生活を送っています。子どもができる前に、その後の生活は想像しづらいものですが、先のことを考えて約束事を決め、実際に相手がそれを守ってくれたときの信頼感は大きなものです。

「あえて約束はしない」

夫が仕事や消防団で忙しいという夫婦は、「あえて約束はしない」が約束事でした。「朝起きたときにベッドの中にいればOK」というもの。不規則な生活を送る自営業の人たちや、仕事や子ども関係のお付き合いが多いというのも、新庄という地域ならではの1つです。常識にとらわれず、自分たちの生活には何が合っているのか？を考えたときに、約束事に縛れすぎないというおおらかさも、ときには必要になってきます。

結婚は浮き足立つものだけれど、その後に待っているのは生活。「特に約束はなく、その都度話し合って協力」という夫婦もいました。結局は、問題がおきた時に、どんな場面でもきちんと話し合えるかが鍵なのかもしれません。結婚して少し経つと、お互いの努力なしでは生活が成り立たないことがわかってきます。「何かをしてもらったときに、ありがたうを言う、という約束をして、結婚生活が20年続いている」と、ファシリテーターの佐藤さんは言います。その上で自分たちに合ったルールを決めていくと、思いやりがベースにある円滑な結婚生活が送れます。



市では結婚活動や子育てに関する相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

- 結婚活動支援に関すること
市役所総合政策課企画政策室 TEL内線234
- 子育てに関すること
市地域子育て支援センター TEL22-5115
(本町4-33こらっせ新庄4F わらすこ広場内)



LOVE ACTION -ラブアクション-

最上広域婚活実行委員会

婚活に関する情報をご紹介します。

婚活イベントやセミナーの開催など、最上地域の独身男女の結婚をサポートしています。

<http://love-action.jp/>

LINE@

子育て相談お受けしています。

ID@tee7591w

LINEの友達追加から「ID検索」または「QRコード」で登録してください！